

persecution

パーセクション

知っておきたいキリスト教のことば (163)

迫害 はくがい

「迫害」という言葉を調べてみると、このようがありました。

迫害とは、力で弾圧・排斥する行為を言う。現在では主に宗教的迫害、人種・民族的迫害、政治的迫害の3つの意味で用いられる。

聖書(特に新約聖書)に出てくる「迫害」は、イエス様を信じることによって引き起こされる暴力や弾圧のことを指します。

キリスト教の礎を築き、また多くの教会共同体に対して手紙を書いたパウロも、最初はキリスト者を迫害していました。しかし回心し、キリストを伝える者となってからは、自分が迫害される者となりました。

イエス様は自分に従うことによって、あなたがたには様々な迫害が起こるが、その人のために祈りなさいと語ります。十字架の上でイエス様が語られた、「父よ、彼らをお赦してください。自分が何をしているのか知らないのです」という言葉が思い起こされます。

ただイエス様がこのように語ったにも関わらず、世界では様々な迫害が繰り返されてきました。ナチスによるユダヤ人への迫害、白人による黒人への迫害、またハンセン病などの病気に対する迫害など、幾度となく起こっています。

またわたしたちの周りにも、「差別」や「迫害」は、今もあります。もしかするとわたしたちは被害者としてだけではなく、加害者にもなっていることもあるかもしれません。

「迫害する者のために祈る」、そのことができればと、心から思います。

次回は「鳩」です。楽しみに。



「蠟燭にされるキリスト教徒」

ヘンリク・シェミラツキ

(1843-1902年)

しかし、わたしは言うておく。敵を愛し、自分を迫害する者のために祈りなさい。

(マタイによる福音書5章44節)

